

■ 京浜港の一体的な経営の推進

- ◆ 京浜港が世界の主要港と伍していくため、三港の一体化によるスケールメリットを生かした効率的で、機動性の高い、管理運営体制の構築を図っていきます。当面は実質的一港化を進めつつ、将来のポートオーソリティ（PA）の設立を視野に入れた取組みを進めていきます。

実質的な一港化の推進

● 法定協議会の設置

- 京浜港の一体的な経営に関する協議の場として、地方自治法に基づく「京浜港連携協議会」を設置
(平成21年12月25日)

● 会社・公社の連携強化

- 東京港埠頭（株）と（財）横浜港埠頭公社の連携に関する協議の場として「京浜港事業提携委員会」を設置
(平成21年12月25日)

● 人材の育成・確保等

- 人事交流の拡大や共同研修の実施等により、専門性と広い視野を持った人材の育成

ポートオーソリティを視野に入れた事例研究

● 国内における港湾管理体制

港務局（新居浜港） 一部事務組合（名古屋港等）

● 海外におけるポートオーソリティ

民営会社（ロッテルダム港） 独立法人（ハンブルグ港）
公社（釜山港） 等

特に海外においては、PAとして行政から
独立し、柔軟性のある経営主体を構築

- | | |
|----|--|
| 財務 | 財政的に独立（出資や税制面等での支援あり） |
| 組織 | 委員会等が経営を担うとともに、下部に事業執行機関を設置するなど、自由度の高い執行体制 |
| 事業 | ターミナル用地リース料以外の収入源をもつPAも多く存在 |

日本版PAの実現に向けた課題

● 役割分担の明確な整理

（国、地方自治体、埠頭会社・公社）

● 財政基盤の強化

（財政的自立）

● 制約の多い現行法の改正等 新たな法制度整備

■ 広域的な課題への的確な対応

- ◆ 地球温暖化防止などの環境対策や大規模災害への対応など、広域的な課題について、現在の取組みを踏まえながら、連携を推進し、効率的かつ効果的に対処していきます。

● 環境対策

- 温室効果ガス削減
- 水質の浄化
- 静脈物流システムの構築 等



川崎市浮島に建設予定の太陽光発電施設

● 防災対応

- 大規模地震対策
- 風水害対策 等



基幹的広域防災拠点（川崎港東扇島東公園）

● 危機管理対応

- 密輸密入国対策 等

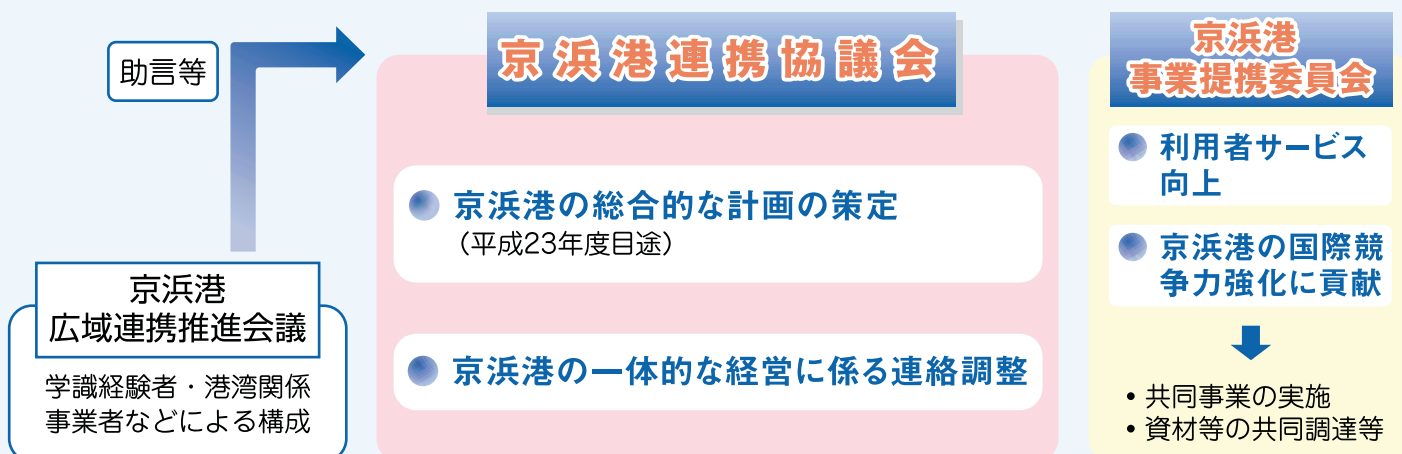


保安訓練の様子

5 今後の進め方

- ◆ 今後は、京浜港連携協議会において三港の連携強化に向けた検討を深めていき、平成23年度を目処に各港の港湾計画の基本となる「京浜港の総合的な計画」を策定するなど、京浜港の将来像の実現に向けた取組みを進めていきます。

【検討体制】



（参考）国際戦略港湾（国際コンテナ戦略港湾、国際バルク戦略港湾）について

国は、我が国港湾の国際競争力の強化を目指し、更なる「選択と集中」による重点投資を行なうため、新たに「国際戦略港湾（国際コンテナ戦略港湾、国際バルク戦略港湾）」を公募することを表明しました。

これを受けて、平成21年12月14日、東京都、川崎市、横浜市は、京浜港広域連携推進議員連盟とともに、我が国港湾の国際競争力強化に向けた戦略的施策展開を提案しました。併せて、国際戦略港湾への京浜港の選定と三港が取り組む連携施策への支援を要請しました。



三港共同で国土交通省へ提案している様子

【連絡先】： 東京都港湾局港湾経営部振興課
川崎市港湾局港湾経営部経営企画課
横浜市港湾局港湾経営部港湾経営課

03-5320-5559
044-200-3062
045-671-7263